

### ◇修学旅行に連れて行ってもらいました。

・団長とは言いながら、小学校の修学旅行は自分が行った時以来の 35 年ぶりです。ちっともわかりません。キザニアってピザ？スカイツリーってクリスマス？鎌倉って雪で作るやつ？なんていうのも半分冗談ですが、でもその多くは訳わかりません。だから、引率と言うよりも、同行？同伴？帯同？、いやいや“一緒に連れて行ってもらう”と言う方がピッタリです。

しかし驚いたのは、子どもたちの素晴らしく大人な姿でした。私は修学旅行は大成功だと思っていますが、それは以下の 3 点からです。①**時間を守る**。宿舎であっても見学先であっても、5 分前行動は当たり前で、常に先を見通して行動している点。②**礼儀を守る**。親しき仲にも礼儀ありとも言われますが、道々出会う人たち、お世話になった人たちに対する礼儀や言葉遣いは素晴らしいの一語です。③**学ぶ姿勢を貫く**。ややもすると人の後をついて行き、結局はあまり思い出に残らないという修学旅行もたくさん見てきました。しかし、人は人、自分は自分、どこで何を学ぶのか、何のためにこの場所にいるのか、そういう旅行を貫く大きな課題と正面から向き合っていたこと。

もちろん旅行ですから、いろんなことがうれしいし楽しい。自分がなすべきことをした後に、旅行の楽しさを満喫できたこと。これもとても大切なことです。

何はともあれ、秋晴れの爽やかな日差しの下、全員が満足感に満ち溢れた笑顔で帰ってこれたこと、これ以上のものではありません。陰になり日向になり支えてくださったご家庭、行動力実行力を育ててきた倉崎 t、楽しくためになる話で場を盛り上げてくださった時田 t、全員の体調を気遣い安心感を与え続けた川口 t、何千枚もの写真を撮ってくださった写真屋さん、朝から晩まで子どもたちの行動に気を遣い続けてくれた添乗員さん、バスガイドさん、運転手さん。関わってくださったすべての方々に感謝。

### ◇大変申し訳ありません◇

・どこかで言おう言おうと思っていました。この紙面を借りて告知をしておきます。不肖川崎は 12 月 3 日に入院して 4 日に手術します。医大で CT 撮ったら埋没している親不知が炎症を起こしていました。それで右の頬が痛くて痛くてたまりません。毎日 2 時間おきに鎮痛剤 (+ 胃薬) 飲んでます。夜中も何度も目が覚めて、その度に薬のみます。さて、入院は最高で 10 日間位になるみたいです。手術も全身麻酔らしいです。人生初の入院と手術に胸が高鳴ります。正直言って怖いです。はい。皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、なにとぞお許しください。術後は多分元気に戻ってまいります。しかし、人づてに話を聞くと、術後も出血が止まらないとか、痛くて眠れないとか、脅かされてます。あーっ、何の因果でしょうか。確かに悪いことはたくさんしてきました。良く振って飲んでくださいと言うジュースをそーっと飲んだり、富士急ハイランドのふじやまに乗ってすぐに反対側から逃亡したり、待ちきれずにカップヌードルを 2 分で食べ始めてしまったり、冷蔵庫の紙パックジュースに口をつけて直接飲んだりしてしまいました。ごめんなさい。反省しています。こんなことならもっとまじめに生きてくれば良かった。後悔しています。やっぱり人間まじめに生きることが大切だと骨身にしみています。みなさんもお気を付け下さいませ。